

とよおかし 議会だより



第93号

2023年11月発行



みんなで楽しくおいしい野菜を作っています！
暮らしの学校農楽（の～ら）
⇒関連記事 裏表紙

もくじ

9月定例会の報告	2～5
一般質問に18人	6～15
意見書・請願・陳情	16～17
委員会視察報告	17～18
6月定例会の委員会意見と当局回答	18
委員会懇談会報告	19
あたたかな笑顔を訪ねて	20
12月定例会のお知らせ・編集後記	20

一般会計歳入歳出決算

賛成多数で認定

補正予算は全会一致で承認・可決

公立豊岡病院組合規約の変更

賛成多数で可決



《賛否が分かれた議案》 公立豊岡病院組合規約の変更

公立豊岡病院組合立豊岡病院日高医療センターの医療機能転換に伴い、医療法に規定する診療所として運営を可能とするために、規約にある「病院」を「病院および診療所」に変更するものです。採決の結果、賛成多数で可決しました。

▼意見・要望▼ (文教民生委員会)

規約変更に至った大きな理由は、医師をはじめとする医療人材の不足である。

今後ますます厳しさを増す状況が考えられるなか、豊岡市においては公立豊岡病院組合の構成市長会の一員として、医師をはじめとする医療人材の確保や病床数の確保および適正な配置を実現するため、関係機関との調整を積極的に努められるよう要望する。

令和4年度決算をはじめ、報告、豊岡病院組合規約の変更、市道路線の変更、物件購入契約、工事請負変更契約、条例改正、補正予算、並びに意見書、請願、陳情を審議しました。
主な議案の審議状況をお知らせします。



ホームページでも議会の情報をご覧いただけます。

豊岡市議会

検索 

《賛否が分かれた議案》 公立豊岡病院組合規約の変更

【反対討論】(要旨)

日高医療センターについて、ベッド削減の住民説明会が不十分な中で、多くの現状維持の要望がある。そして、豊岡市内の75歳以上の高齢者の入院受診率が、県下で最も低く、県の平均が77.88%であるのに、豊岡市は55.22%であることがわかった。豊岡市より面積の狭い淡路島の3市では、ベッド数が約3倍であり、豊岡市のベッド数は他市に比べて少ない。

ベッド数を削減し、19床の診療所とすることを可能とし、豊岡市の住民がますます十分な入院治療が受けられないこととなる本案には反対する。

(日本共産党豊岡市会議員団議員)

【賛成討論】(要旨)

この議案による規約の変更によって、公立豊岡病院組合において「病院および診療所」の設置および管理が可能となり、医師をはじめとする医療人材が不足する中で、在宅医療を中心とする医療需要の動向を踏まえ、より柔軟な公的医療機関としてのあり方が選択できるようになる。よって、本案に賛成である。

(豊義会議員)

意見が分かれた議案等は起立により採決します



9月
定例会

議案審議

9月1日～9月28日（28日間）

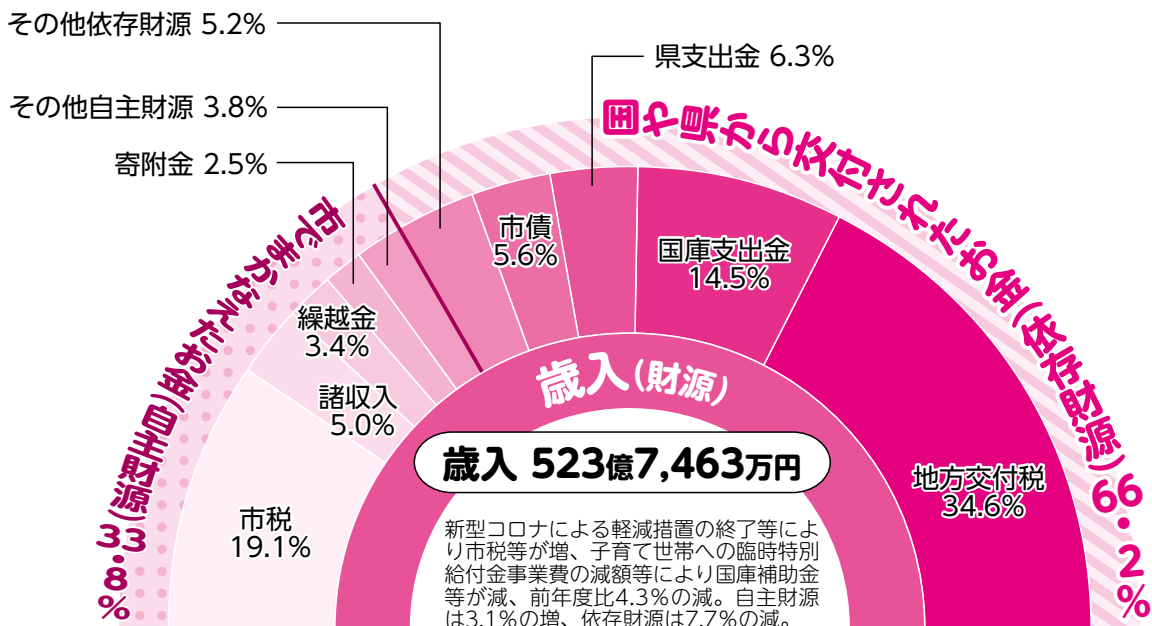
意見が分かれた議案等の賛否一覧表

本会議での賛否を公開します。掲載のない議案は全会一致で可決されました。
賛成は「○」、反対は「×」、議長は採決に加わらないので「/」で表示しています。

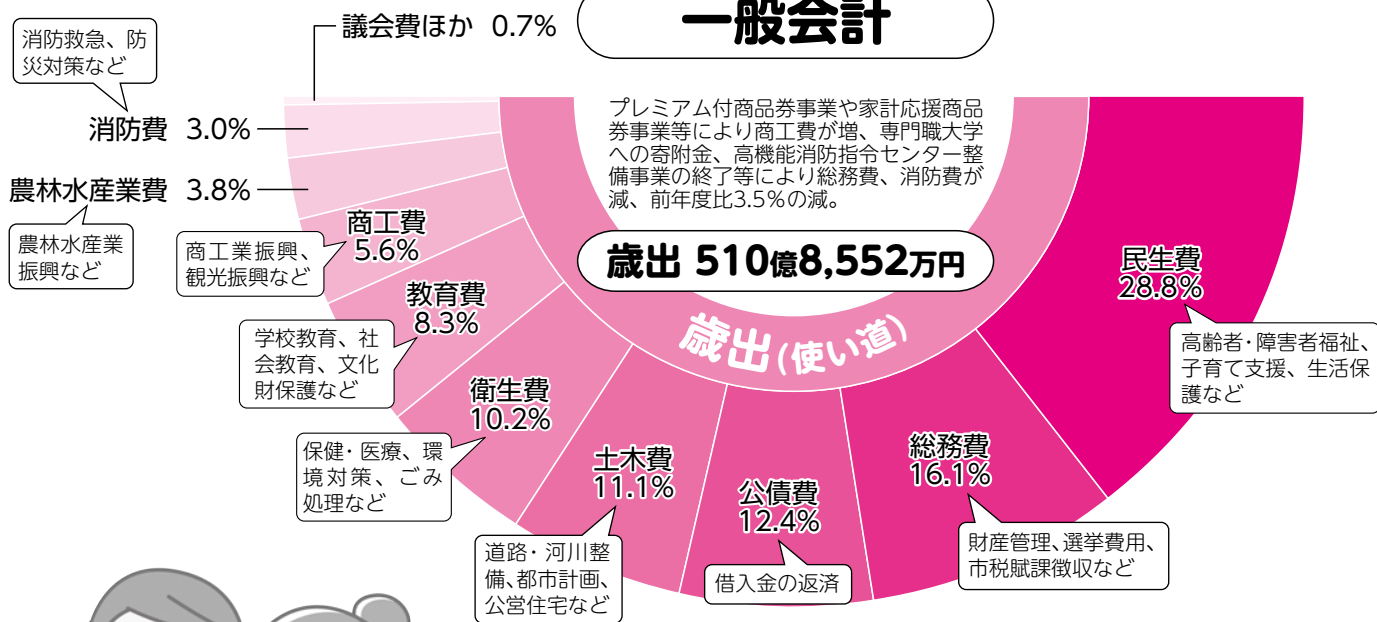
議案名等	豊義会																	令和とよおかクラブ			ひかり		日本共産党 豊岡市議員団		豊岡市議 会公明党		会派おそろ	審議結果
	浅田 徹	荒木慎 大郎	岡本 昭治	木谷 敏勝	小森 弘詞	芹澤 正志	前田 敦司	森垣 康平	米田 達也	石田 清	清水 寛	田中 藤一郎	福田 嗣久	松井 正志	太田 智博	西田 真	義本 みどり	上田 伴子	須山 泰一	村岡 峰男	芦田 竹彦	竹中 理	前野 文孝					
第77号議案 公立豊岡病院組合規約の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	可決				
第102号議案 令和4年度豊岡市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○	認定				
陳情第2号 公立豊岡病院日高医療センターのあり方についての陳情書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	/	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	不採択					

令和4年度一般会計決算を認定！

市民の皆さんの税金の使い道を徹底審議しました。



一般会計



市民一人当たり決算額(一般会計)
一人当たり**661,901円**使いました
前年度比**13,482円DOWN**↓
※2023年3月末人口77,180人から算出

民生費 190,013円 1,370円UP↑	総務費 106,699円 15,596円DOWN↓	公債費 82,176円 6,098円DOWN↓	土木費 73,557円 1,838円DOWN↓
-------------------------------------	--	--------------------------------------	--------------------------------------

衛生費 67,553円 3,616円UP↑	教育費 55,142円 483円UP↑	商工費 36,975円 8,523円UP↑	農林水産業費 25,320円 4,023円UP↑	消防費 19,821円 7,502円DOWN↓	議会費ほか 4,645円 463円DOWN↓
------------------------------------	----------------------------------	------------------------------------	---------------------------------------	--------------------------------------	-------------------------------------

令和4年度一般会計決算認定



本会議での 反対・賛成討論

反対討論 (要旨)

個人市民税所得割の超過課税はやめるべきである。個人市民税5千数百万円の収入による施策は超過課税に見合う施策ではない。

市民の負担を考えれば、最低限でも個人市民税の所得割は廃止すべきである。同時に法人市民税、固定資産税についてもやめる方向での検討をすべきである。

コウノトリ但馬空港利用促進の補助金については補助率の検討を求める。若干率が下がったとのことだが、依然として料金の半額近い補助率であり、バス・鉄道といった生活に密着した公共交通支援のより一層の充実が必要である。

よって、この決算について認定することはできない。(日本共産党豊岡市会議員団議員)

賛成討論 (要旨)

市民税および固定資産税の超過課税は都市計画税の廃止に伴う代替財源として議会で認めてきたもので、今日の市民の暮らしを着実に支えている。

個人市民税の超過課税についてもウエートは低めであるが大事な財源である。

以上から、市民税、固定資産税の超過課税分を含む本決算は適切妥当であり、認定すべきである。(豊義会議員)

豊岡市が将来にわたり魅力あふれる地域であるためには交流人口のさらなる拡大による地域活性化が不可欠で、コウノトリ但馬空港はその基盤インフラであり、空の玄関口である。公共交通機関としても価値を高めており、国・県と但馬地域の自治体が連携し利用促進を図っているが、空港需要の拡大を支えるコウノトリ但馬空港利用促進の補助金は必要であり、空港利用に大きく貢献している。

よって、本案に賛成する。(ひかり議員)

主な補正予算議案

<一般会計補正予算(第4号)【台風7号災害対応】(専決処分の報告)>

農地等災害復旧	29,000千円
道路河川等応急復旧	43,500千円 など

<一般会計補正予算(第5号)>

高橋地区コミュニティセンター 長寿命化事業	2,640千円
地域おこし協力隊起業支援補助金	22,000千円
農林水産事業者の生産コスト低減支援	50,310千円
雪害倒木緊急対策事業	10,000千円
給食等の食材料費価格高騰分の追加支援	16,539千円 など



▼意見・要望▼ (予算決算委員会)

地域おこし協力隊について、多くの隊員が活動終了後も地域にとどまり、起業するなど豊岡を盛り上げていただいている。市としても、より良い方向へ進むように引き続き活動を支援していただきたい。

また、地域住民が彼らを応援する仕組みの構築についても検討いただきたい。

9月定例会

※ここに掲載する質問・答弁は、9月11日～14日のものです。
内容については、昨今の社会情勢・対応策等、日々状況が変わってきています。

一般質問に18人

市民の皆さんの身近な問題、市の予算や政策など、
さまざまな課題について活発な議論を交わしました。

市議会の本会議が
インターネットで
ご覧になれます！



インターネットにより、定例会の様子をライブ中継と録画中継で映像配信しています。ぜひご覧ください。

豊岡市議会インターネット中継

 スマートフォンでも定例会のライブ中継を配信!

芦田 竹彦 (7ページ)

- 台風7号の対応
- 学校等の環境整備
- 物価高騰対策
- がん対策

上田 伴子 (7ページ)

- 日高医療センターの規約改正
- 子ども施策
- 台風災害の対応
- 学校跡地活用におけるコミュニケーション活動への支援

荒木 慎太郎 (8ページ)

- 中学校の部活動の熱中症対策
- 豊岡演劇祭
- 定住促進施策
- 若者の居場所づくり

森 垣康平 (8ページ)

- 防災施策
- 健康福祉センター
- ハラスメント対応

石田 清 (9ページ)

- 子ども・子育てに関する施策の現状と課題
- 人手不足対策
- 山地災害の予防と復旧のための市単独小規模治山事業

田中 藤一郎 (9ページ)

- 豊岡市行政改革大綱
- 地方創生と経済政策
- 豊岡市教育
- 豊岡市の未来への医療のあり方

義本 みどり (10ページ)

- 児童虐待防止
- 放課後児童クラブ

芹澤 正志 (10ページ)

- 公共施設
- ユニバーサル社会の実現

前田 敦司 (11ページ)

- 稼ぐ力のあるまちづくり
- 自然の活用
- 協創者の拡充

太田 智博 (11ページ)

- 市立中学校の部活動の今後の在り方
- 市内幹線道路における渋滞解消と道路舗装
- 公立教育施設の設備
- 空き家対策
- 行財政改革
- 雪害倒木緊急対策事業

浅田 徹 (12ページ)

- 市政推進への「そなえ」
- 防災・減災への「そなえ」
- 社会教育推進への「そなえ」

清水 寛 (12ページ)

- 自然災害への備え
- 社会環境変化への備え
- 令和4年度決算

小森 弘詞 (13ページ)

- 新文化会館および中央公園整備
- 医療的ケア児(者)・重症心身障害児(者)に対応した施設整備事業
- 地域医療

岡本 昭治 (13ページ)

- 廃校になった学校施設を利用する地区への対応
- 内水被害の改善
- 公立豊岡病院組合の経営における豊岡市の役割
- 令和4年度(2022年度)決算書

須山 泰一 (14ページ)

- 日高医療センター診療所化問題

竹中 理 (14ページ)

- 軽自動車税の商品車の課税免除
- 小中学校の副教材購入
- 振興局の役割
- 決算

村岡 峰男 (15ページ)

- 22年度決算
- 市長総括説明
- 病院規約改正
- 農政

前野 文孝 (15ページ)

- 公共施設マネジメント
- 放課後児童クラブ
- 日高医療センターの診療所化
- 豊岡市における歩きたばこ・ポイ捨て禁止

写真下の **二次元バーコード** で
質問の録画映像をご覧いただけます



サニタリーボックス設置状況は

答 振興局やコミュニティセンターに設置

がん対策

問 近年、前立腺がんや膀胱がんなどで、尿漏れパッドを着用する方が増えている。未設置の公共施設へのサニタリーボックス設置状況は

答 各振興局やコミュニティセンターの男子トイレへの設置に向けて取り組んでいきたい。

問 がん検診受診率の向上はどのように取り組まれているか

答 特定健診や生活習慣病健診などの基本健診と熱中症対策として、可能であれば設置したいという意向はあるが、設置には多額の経費が見込まれる。維持管理費



男性トイレにパッドを捨てるサニタリーボックス！

学校等の環境整備

問 小・中学校体育館にエアコン設置はどうか

答 近年の温暖化による熱中症対策として、可能であれば設置したいという意向はあるが、設置には多額の経費が見込まれる。維持管理費

問 学校屋外トイレは、災害時の避難所や地域のスポーツの活動の場などの役割を担っている。洋式化を望むがどうか

答 すべての学校で男女トイレとも、1基は洋式トイレを設置している。和式トイレが使用できない児童生徒が増えているため最優先すべき課題であり、今後とも校舎の長寿命化改修工事に併せて整備を行い、洋式トイレへの改修を進める。

議員のひとこと
体育館は災害時の避難所ともなり空調設備は必要。

がん検診を同日に受診できる体制とし、旧町単位で健診会場を設けている。

も多額となる。今後、何から手をつけるか、どうすればできるか検討する。



芦田 竹彦 議員

豊岡市議会公明党



※アピアランスケア…治療によっておきる外見の変化に対して患者の悩みに対処すること

診療所化について周知不足では

答 市民説明会などで周知されてきている

問 規約改正されると、日高医療センターが診療所になってしまうことをほとんどの市民が知らない。全市域でベッドを減らさないでと要望がある中、知らされないままの議案提出はやめるべきだと思うがどうか

答 市民説明会、パブリックコメント、広報誌等で周知がはかられ、病院組合の経営判断の中で見直された計画なので、適切に進められてきたと考え、議案提出した。

問 豊岡病院が高度急性期の医療を担う中、後方支援としての日高医療センターの役割は必要だ。市民への医療提供体制の後退を招くことが、行政としての態度か

答 後退を招いているつもりはない。趣旨はよく理解するが、現実には、入院体制を支える医師の不足に起因する体制の見直しによる。

議員のひとこと
豊岡病院を退院後、遠くの福知山や丹波の病院に入院しなければならない状況はなくて、地元で入院できるようにしたいものです。

理解するが、現実には、入院体制を支える医師の不足に起因する体制の見直しによる。



子ども医療費無償は小児科受診の15歳まで拡充を！

中3までの子ども医療費無料化の計画は

問 中学3年生までの医療費無料化は、市長の公約の最重要課題であったと思うが、無料化への道筋はどうか

答 私自身の重要課題と位置づけ、市民の期待も十分に承知している。実現には、財源確保が大きな課題であり、DXや業務の見直しで、財源を生み出して見通しがたった時点で、対象年齢の拡大を検討していきたい。

問 年度を区切った計画は、もっているのか

答 24年度からできたらいいとは思っているが、来年度予算に対する意見を聞いた上でと考えている。



上田伴子 議員

日本共産党豊岡市議会議員団





問 市民もうまく活用方法を考え、スケートボードの方々だけでなく、20代、中高生が遊べる仕掛けづくりが必要。にぎわいの場として、後の維持管理も含



若者の新たな居場所になることを期待する中央公園

答 中央公園のスケートボード場の在り方についてどのように考えているか

問 中央公園のスケートボード場の在り方について、若い人の参画を促し、意見も聞き、持続可能な公園づくりに取り組んでほしい。人口減少対策の一環としても捉えてほしいと考えるが、そのような方向性で議論を進めていけないか

問 定住する上で就労は重要な要素の一つ。市内企業への就職の機会となるよう、大学3年生を対象に市内企業を知ってもらうための交流会や、企業の採用担当者とのマッチングの場を企画し、実施していきたい。

問 豊岡市が専門職大学の学生に向けて行っている定住促進施策は

専門職大生の定住対策を求める

議員のひとこと
若い世代の居場所づくりが人口減少対策には必須！市民と行政の連携した公園整備に期待したい。

新たな整備計画は持ち合わせていない

中央公園の整備計画は



荒木慎太郎 議員 豊義会



今年度調査し、次年度以降計画的に改修

福祉センター改修計画進捗状況は



森垣 康平 議員 豊義会



問 城崎・但東健康福祉センターの活用策の検討状況はどうか



地盤沈下が懸念される出石健康福祉センター

問 今回の台風7号において城崎振興局と城崎消防団で活用した業務アプリkintoneの課題と運用方針は

防災施策

議員のひとこと
但東健康福祉センターは、立地も良く構造に問題もないように感じる。ぜひ、存続の方向で検討を進めていただきたい。

問 土地勘のない職員もGPS機能を利用し、発災場所を明確に報告でき、また、リアルタイムで正確な情報を集めることができ、判断要素として大いに役立った。改善して引き続き活用していく。

議員のひとこと
豊岡の気温は、日本一の高温を記録することもある。ぜひ、有事が起こる前にエアコン設置を進めていただきたい。

議員のひとこと
このアプリを他の地域でもぜひ活用してもらいたい。

※kintone：プログラミング制作の知識がなくても簡単に業務改善アプリが作れるサービス

未就園児家庭への子育て支援は

答 未就園でも安心して子育てできる環境を整備

問 3歳時から5歳児までと比べ、ゼロ歳児から2歳児までの未就園児が多いが、未就園児家庭への子育て支援は十分か
答 園で保育サービスを受けられることは重要なことだが、園に入園しなくても安心して子育てできる環境を整えることも重要である。市では、さまざまな保護者ニーズに応えるよう努めていく。



子どもの姿が見られない公有地の有効活用を（府中小学校の裏側校地）

問 把握しているか
答 人数は把握していない。従事されない理由として、職場の人間関係、給料が安い、仕事量が多い、労働時間が長いなどがあるようだ。
問 山地災害の予防と復旧について、他市にもある補助等の市単独小規模治山事業による対策も講じていくことが必要ではないか
答 県民緑税による里山防災整備事業や緊急防災林整備事業に取り組み、流木防止などの予防対策を推進している。市単独での予防対策は難しい。

問 保育者・幼児教育を進める上でどのような課題があるのか
答 保育者の子どもへの理解と保育の実践力を高めることが重要である。公立、私立を問わず保育者研修を行い、質の向上に努めている。

問 放課後児童クラブ運営の課題は夏休み期間の職員確保とのことだが、
答 毎年のことなので改善しなければならないのでは
問 募集について、各方面に働きかけるとともに、児童クラブ職員の意見も聞きながら、改善できるところは改善したい。
問 保育士資格を持ちながら従事していない方の人数と従事されない理由

答 基本的な譲与税での災害予防は想定されていない。
問 森林環境譲与税で山地の災害予防対策を進めることができないか
答 基本的な譲与税での災害予防は想定されていない。



石田 清 議員
令和とよおかクラブ



人口減少の中での成長戦略は

答 市域全体を使い地域を経営していく

経済政策への取り組みと経済成長戦略

問 人口減少の中で、域内産業の成長なくして市が生き残ることはできないと考えるが、どのような成長戦略を行うのか
答 豊かな資源と個性・特徴を生かし、産業界の連携も図り、市域全体を使い地域を経営していく。

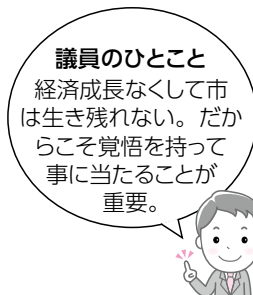
問 働き手不足が慢性化している中で、外国人労働者確保を官民一体となつてどのように取り組んで行くのか
答 受入れに関する現状や課題を把握し、必要な対策を

問 子どものための学ばすタイムは、これまでの常識としてきた体制から多様性への対応が求められるが、どのようにしていくのか。DX、ICTに取り組み推進していくのか
答 さまざま



インクルーシブに向けてなにをする

問 慢性的な医師、スタッフ不足がますます深刻になるが、市民の安全安心を守るためにどのようにしていくのか
答 但馬圏域の会議の中で、医師確保についての対策が策定される。市としても役割を果たしていきたい。



議員のひとつこと
経済成長なくして市は生き残れない。だからこそ覚悟を持って事に当たることが重要。

インクルーシブと教育DXの推進

問 慢性的な医師、スタッフ不足がますます深刻になるが、市民の安全安心を守るためにどのようにしていくのか
答 但馬圏域の会議の中で、医師確保についての対策が策定される。市としても役割を果たしていきたい。



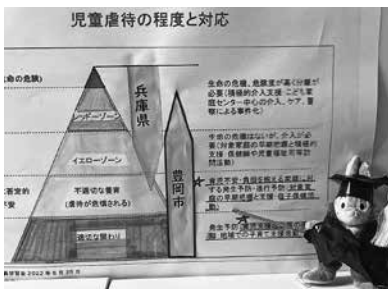
議員のひとつこと
本気で医師を志す学生に対して具体的な施策を行うべき時だ！



田中藤一郎 議員
令和とよおかクラブ



※インクルーシブ…さまざまな背景をもつあらゆる人が排除されないこと



育児支援策の周知は虐待発生予防になり、市の役割です！

問 出生数の約4割の家庭が育児に不安を持ち、虐待予防の必要。アイティ4階の各子育て支援施設を利用者だけでなく買物客・中学生にも知ってもらおうよう表示すべきではないか

答 豊岡市は学校施設内であり、引き続き学校と調整。八条は専用施設のため、収納等工夫をしながら環境改善を図る。

問 暴力的な虐待だけではなく、保護者自身が発達障害や精神疾患等で養育する力が不足する場合、保育園に子どもを預けることが子どもの養育にと

答 子育て支援策は人口減少対策という局面で語られるが、虐待予防策でもある。子育て支援策を多くの市民に知ってもらうため、広報に貪欲さが

問 放課後児童クラブの児童一人当たり面積が狭い所を担当者と現場に向いた。特に2か所は早急に改善すべきではないか

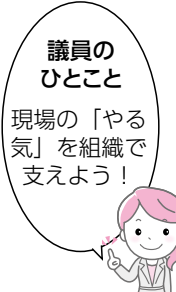
答 豊岡は学校施設内であり、引き続き学校と調整。八条は専用施設のため、収納等工夫をしながら環境改善を図る。

問 児童虐待防止で県と市は役割が異なり、より深刻な事案は県が中心だが、市の役割は

答 虐待予防である。家庭相談員が日頃から虐待リスクのある家庭と信頼関係を築き、寄り添った対応をしている。

問 放課後児童クラブの児童一人当たり面積が狭い所を担当者と現場に向いた。特に2か所は早急に改善すべきではないか

答 豊岡は学校施設内であり、引き続き学校と調整。八条は専用施設のため、収納等工夫をしながら環境改善を図る。



答 深く関わっており重要な業務と改めて認識

家庭相談員業務への市長の所感



義本みどり 議員 ひかり



答 交通・住環境などのバリアフリー化を進める

ユニバーサル社会への取り組み



芹澤 正志 議員 豊義会



問 高齢者や障害者の方が円滑に旅行を楽しんでいたためのユニバーサルツーリズムの推進策への市の考え方は

答 受入れ側である観光関連事業者と旅行者双方の不安感の払拭、推進の担い手育成および機運醸成などの課題の解決が必要と考える。まずは市が管理する観光施設のバリアフリー化や観光事業者への普及啓発など、できることから県や地域の観光事業者の方々と連携して取り組んでいく。

問 市内の高齢者や障害者、乳幼児を同伴する方々にとっても生き生きとした生活ができる福祉のまちづくりの推進への施策は

答 具体的施策は、地域環境・交通環境・住環境のバリアフリー化の推進

問 高年齢者や障害者の方が円滑に旅行を楽しんでいたためのユニバーサルツーリズムの推進策への市の考え方は

答 受入れ側である観光関連事業者と旅行者双方の不安感の払拭、推進の担い手育成および機運醸成などの課題の解決が必要と考える。まずは市が管理する観光施設のバリアフリー化や観光事業者への普及啓発など、できることから県や地域の観光事業者の方々と連携して取り組んでいく。



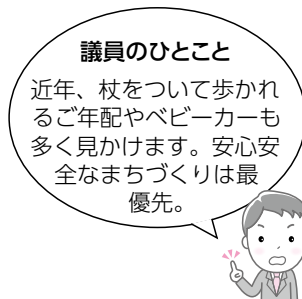
誰もがどこにでも移動ができるまちづくりを目指して

問 今後の一層その維持、運営の環境は厳しくなることが予想される。光テレビサービスへの切り替えが進んでいるが、その場合の補助制度は現時点ではないので、課題として認識している国の動向を注視していく

このページは質問者の責任において作成したものです。

問 受信環境の悪い地域

答 これまでのデザイン懇談会やサウンディング調査で出された意見を踏まえ開催した。検討会の結果を若者会議でも意見を聞き、市としての方向性、方針をまとめていく。



問 受信環境の悪い地域

答 これまでのデザイン懇談会やサウンディング調査で出された意見を踏まえ開催した。検討会の結果を若者会議でも意見を聞き、市としての方向性、方針をまとめていく。

豊岡旅幸券に込める期待は

答 市内全域への経済波及効果を期待する

問 人口減少が進んでいけば、インフラ整備や社会福祉などの行政サービスの継続、成長に向かうための戦略や子育て支援などの拡充も難しくなる。自治体自体が稼ぐ仕組みとしてふるさと納税があり、2022年度の寄附額は12億3437万円、その納税額の約半分が納税された自治体の財源となるのが一般的となり、約6億円の税収となっている。その返礼品に、9月より豊岡旅幸券が追加された。観光を地域の強みに持つ本市において、この豊岡旅幸券は税収の増加に加えて来訪のきっかけとなり、さらなる経済効果も高いと考えるが、市として豊岡旅幸券に込める期待は



地域経済の活性化に期待の高まる豊岡旅幸券（見本）

きつかけにもなるのではないかと考えるが、市民の方に向けて、豊岡旅幸券が始まった。ぜひ家族に勧めてもらえませんかと呼びかけるような取り組みはできないか

問 施設のほかに飲食店、スキーやカヌー等の体験施設など幅広く使用できる。観光誘客と市内周遊を促すことで市内全域に経済波及効果が得られることを期待している。

答 力を入れて伸ばしていただきたい政策と考える。例えば、豊岡の新しいふるさと納税返礼品ができたということ、親・家族から巣立った方に勧めてみていただくことで、里帰りのきっかけにもなり、地域を再発見する

問 豊岡旅幸券では宿泊

問 力を入れて伸ばしていただきたい政策と考える。例えば、豊岡の新しいふるさと納税返礼品ができたということ、親・家族から巣立った方に勧めてみていただくことで、里帰りのきっかけにもなり、地域を再発見する

議員のひとこと
市外からお金を呼びこみ、子育て支援や社会福祉などの行政サービスの拡充を！



前田 敦司 議員
豊義会



雪害倒木緊急対策事業とは

答 雪害倒木による停電回避のための事前伐採

問 事前伐採の事業概要はどうか

答 雪の重みで電線を切断してしまう可能性のある樹木を事前に伐採する事業であり、具体的には電線からおおむね20メートル以内を伐採する。地域コミュニティや行政区が事業主体となるが、森林所有者の同意が大前提である。

部活動の地域移行

問 「第1回豊岡市中学校部活動の在り方検討委員会」と「市内9校の生徒会のリーダーを集めてのリーダー研修会」で出された課題はどうか

答 部活動が満足にできない小規模学校による合同部活動の対応や、地域指導者の確保が難しいなかで、教師の働き方改革を目的とした指導者派遣など、この二つを同時に進めなければならないという課題が出された。この点については、大きな検討課題だと考えている。

小中学校体育館への空調設備設置

問 体育館への空調設備の設置状況はどうか

答 熱中症対策として、可能であれば設置したいが多額の経費がかかることから整備は考えていない。

問 子ども命という部分で考えると、財政のみならず理由だけで整備できないとは納得しがたいがどうか

答 熱中症対策の観点からは設置したい意向は持っており検討する。



雪害倒木による停電復旧作業の様子

問 いったい課題が出された。この点については、大きな検討課題だと考えている。

議員のひとこと
小中学校の体育館にエアコンの設置を要望する。



太田 智博 議員
ひかり





浅田 徹 議員
豊義会



台風シーズンを迎え「そなえ」は

答 土砂災害に対する市民の意識向上を促す

問 台風7号の円山川の増水により、九日市上町地区内で漏水が発生し、消防団による応急対策が行われた。監視体制および止水対策工事が急務だが国との連携はどうか

答 国は、漏水箇所を重要水防箇所として増水時の監視を強化し、現在災害復旧の申請中である。

問 土砂災害の発生しやすいエリアの行政区および消防団に、避難のタイミングを計るための簡易雨量計の無料配付が必要と考えるがどうか。また、レッドゾーン内の独居高齢者の個別避難支援計画について、命を守るための行政的な強い指導を行うべきではないか

答 現時点で簡易雨量計の無料配付は考えていない。土砂災害が発生す

れば命の危険に直結するため、消防団へお知らせして十分理解していただく取り組みを行いたい。

また、レッド・イエロージーン内居住の独居高齢者の個別支援計画作成を区長に依頼する際は、今後は独居高齢者の存在を意識して作成に取り組みよう働きかけを行う。

問 但馬富士と称される三開山は、児童や高齢者も安全に登れる里山だが、近年、鹿の増加でヤマビルが異常発生し、山麓の神美小学校をはじめ、地域コミュニティセンター、住宅地までヤマビルの吸血被害が拡大し、怖くて登れない状態となっている。鳥獣害対策にヤマビル対策を加えて、行政の支



但馬富士「三開山」のヤマビル撲滅対策を！

援を検討できないか。

答 ヤマビル対策を加えることは考えていないが、三開山の鹿の一斉捕獲を今年度は3回行った。また、環境改善も不可欠であり、林内の日当たりや風通しを良くし草刈りなど、生息しにくい環境づくりをヤマビルに悩む市民の皆さんと協働した対策が必要と考えている。

市民総参加訓練の各区の状況は

答 359区中279区から訓練実施報告



清水 寛 議員
令和とよおかクラブ



問 防災訓練で区独自の取り組み事例はどうか

答 訓練実施区のうち4割を超えて実施。消火訓練や消火栓等の点検が多いほか、タオルやハンカチを玄関にかける安否確認、炊き出し訓練、区内の危険箇所の確認、防災資機材の点検、土のう作成訓練、要援護者への声かけや避難時の打合せなどに取り組まれている。

問 今回の台風7号は、8月14日時点で兵庫県を通過する進路予測が発表された。神戸地方気象台から15日の明け方に大雨警報を発表する見込みという情報も得ていた。14日16時に災害警戒本部を設置、15日8時30分に災害対策本部へ移行。職員も2号配備、10時に原則全ての指定緊急避難場所開設を決定し迅速に対応できた。一方、情報の収集、整理、災害対策本部会議の運営、避難情報の発令に追われ、市民へ情報提供が十分にできなかった。反省すべき点を改善し、しっかりと新しい体制を整えたい。



樋門を閉じた後、排水ポンプがない地域の状況把握を！

問 今回の雨量をどのように感じたか

答 円山川流域で48時間505ミリの降雨は、想定最大降雨で1000分の1の確率の大雨を想定。各戸配布している防災マップは、100分の1の確率の大雨で48時間327ミリを想定した計画降雨を基に作成。今回の台風は1日足らずで約220ミリの降雨量。もう1日同じだけ降れば、48時間で計画規模降雨の327ミリを超えたが、そうならなくてよかった。

議員のひとこと

想定外をもっと想定内とした訓練をすすめないと、その時に対処しきれないのではと危惧します。

問 5年ぶりの災害対策本部設置についての総括はどうか

写真下の **二次元バーコード** で
質問の録画映像をご覧いただけます



今後の透析医療についての認識は

答 本市の大きな課題としてとらえている

問 人工透析患者にとって医療の安定・持続性が重要だが、当市における透析医療の現状は

答 市内の医療機関では新たな透析患者の受入れは難しく、

日高医療センターについても受入れに余裕がある状況ではないと聞いているが、必要であれば順次調整がされている。状況を見ながら但馬圏域の中で議論を進めていけたらと考える。

地域医療

問 開業医の高齢化とそれに伴う医院の減少、診療科の偏在が危惧される。医療計画を策定する市町も増えている。一次医療体制の未来を見据えた動



透析装置を準備する看護師

きが必要ではないか
答 一次医療圏の中で市が主導権を持って何かできる訳ではない。市として関わりを研究したい。

議員のひとこと

かかりつけ医がなくなる…そんな事態を招かないために今できる政策を考えたい。



医療的ケア児(者)、重症心身障害児(者)に対応した施設整備

問 旧県立豊岡南高校跡

地を県から無償貸与される形で医療的ケア児(者)、重症心身障害児(者)に対応した施設整備事業公募プロポーザルが実施され、去る7月に審査の結果、実質的な運営者が決定した。日中、夜間を通して支援をする施設の整備に大きな期待が寄せられる。膨大な施設整備費用が想定されるが、市の関与は
答 事業者は事業費の8割が助成される民間の助成金に応募している。本助成が採択されるよう、可能な範囲内で協力する。助成が受けられない場合も想定しており、抜かりなく進めたい。

整備事業公募プロポーザルが実施され、去る7月に審査の結果、実質的な運営者が決定した。日中、夜間を通して支援をする施設の整備に大きな期待が寄せられる。膨大な施設整備費用が想定されるが、市の関与は



小森 弘詞 議員
豊義会



廃校施設利用料が払えない場合は

答 統合先の学校を利用していただけになる

廃校になった施設を利用する地域への対応

問 明らかに地域が利用できる場合は別として、年間約52万円、例えばこの額で10年間使用した場合の負担合計は520万円、維持管理費が払えないなら統合先の小学校で活動を行ううしか方法はないのか
答 廃校になった地域がコミュニティ活動で学校施設を利用される場合は、少し遠くなるが、統合先の学校を利用していたくことになる。

問 学校がある地域の市民と廃校になった施設しかない地域の市民との間に負担額で大きな違いがある。同じ市民でありながら、公平性に欠



コミュニティ活動拠点として大切な施設(体育館)

けると考えるがどうか
答 市として公共施設の使用料の見直しは定期的に行っている。学校開放事業の負担のあり方なども含めて、公共施設の管理運営に要する経費とそ

の事業者の受益負担の公平性については研究していきたいと考えている。
問 市谷・中郷地区の内水被害対策として、国土交通省が整備している中郷遊水地(上池)への内水の優先流入が理想と考える。国土交通省への要望状況と、それを受けての国土交通省における検討状況はどうか
答 国に対して要望する機会を設けており、国からは検討中であるという回答をいただいている。引き続き内水対策の実現に向けて国と調整したい。

内水被害対策の進展

問 山田川流域内水対策



岡本 昭治 議員
豊義会





病院存続求める市民の声に応えよ

答 診療所化はやむを得ないものと考えている

か。

今回の規約変更議案

問 豊岡市は高齢者の入院受診率が県内で最も低い。しかも極端に低い。日高医療センターを診療所にすると、さらに低くなるのではと危惧する。この原因は何か

答 回復期・慢性期病床の不足が影響していると考えている。

問 市民は知らなかった。豊岡市は「在宅看取り日本一」という報道もされてきたが、この入院受診率の低さが直結していると考えられる。なぜそんなに回復期・慢性期病床が不足したのか、なぜ議論が進まなかったのか

答 住民の命に直結する救命医療や急性期医療が優先されてきたので、慢性期・回復期病床の議論が顕在化しな



新館が解体される日高医療センター

問 計画の内容をやむを得ない内容と認識している。構成市の同文議決というルールを受け入れて提出した。突き返すだけの要素がない。病院組合として最善を尽くした結果と受け止めている。

答 市として初めて日高医療センター診療所化の意思を表したわけだが、市民の命と安全、入院医療の問題を大丈夫と言え

る。構成市の同文議決というルールを受け入れて提出した。突き返すだけの要素がない。病院組合として最善を尽くした結果と受け止めている。

問 市として初めて日高医療センター診療所化の意思を表したわけだが、市民の命と安全、入院医療の問題を大丈夫と言え

る。構成市の同文議決というルールを受け入れて提出した。突き返すだけの要素がない。病院組合として最善を尽くした結果と受け止めている。

答 市として初めて日高医療センター診療所化の意思を表したわけだが、市民の命と安全、入院医療の問題を大丈夫と言え

議員のひとこと
市長が「大丈夫」と言えない「やむを得ない」議案が議会を通してしまい、大変残念。

問 専門家ではないから、大丈夫かどうかは言えない。気持ちとしては、市民のために十分な力を発揮してほしいと病院にはお願いしたい。

答 さらに強みを高める、市民の暮らしを支える

豊岡の強みをさらに推進すべき



竹中 理 議員
豊岡市議会公明党



問 関賞市政2年目の決算審査。さまざまな反省点や問題点を抽出し次年度予算にどう生かしていくのか。肝煎りのDX、子育て支援、またコウノトリ、演劇、ジェンダーギャップ解消など、どう評価し次年度に打ち出すのか市長の総括的答弁を求める



豊岡演劇祭2023も終演

答 議員が例示された取り組みをはじめ豊岡に暮らして良かったと市民が実感できるまちづくりを進め今後も引き続き豊岡の強みをさらに高める取り組みを推進する。次年度の予算はこれまでの成果を検証し戦略的に事業の見直しを行う。企業版ふるさと納税やガバメン

トクラウドファンディングの積極的な活用をして、財源確保に努めたい。

問 市税条例では「商品であって使用しない軽自動車等については、種別割を課さない」とある。ナンバプレートのあるなしで課税免除の有無が決まるのは税法上不公平である。全国でも見直しが見直しを図る予定はあるか

答 この通告を受け、県内の各市町に確認して導入された経緯や減免状況を確認した。減免減額となった部分が基準財政収入額でそのまま判断され下がった分が交付税対象なら市に影響ない。しっかり勉強して前向きに検討する。

議員のひとこと
9月は決算議会です。昨年の演劇祭は共同開催で市から5,400万円を議決しました。観光消費額8,000万円、経済波及効果1億3,600万円。この数字をどうみるか。今年度終了した演劇祭とともにしっかりと検証し来年度予算編成をしていただきたいと思います。

このページは質問者の責任において作成したものです。

診療所とする理由は何か

答 入院体制を支える医師等の確保ができない

問 日高医療センターを病院から診療所にしてベッドを削減する理由は何か。医師の確保ができないだけか。人口、面積から見ても県下のどの地域よりベッド数は極めて少ない。圏域内に国立も赤十字も県立も、民間のベッドを持つ病院もない。公立病院だけが命綱である医療状況をどう理解して診療所化を押し付けるのか

豊岡市	77489人	643床
洲本市	41236人	844床
南あわじ市	44137人	617床
淡路市	41967人	528床
3市の合計	127340人	1989床
豊岡市の面積	697km ²	
淡路島3市の面積	595km ²	

我慢ならんぞ これでも減らすのか!!!

小さい。豊岡のベッドは少ないのにさらに減らすというのが診療所化か

問 第8次兵庫県保健医療計画で、病床数が少ない部分をどう割り振るかは、まだこれからの議論だ。

もつやめて 超過課税

問 22年度決算は、実質収支額10億2285万円の黒字となった。超過課

税のうち、個人市民税の所得割は、5384万円にもなる。全国で豊岡市だけという個人市民税の所得割の超過課税は廃止すべきではないか。全体の財源形成から見ても5300万円を基金から、また決算上の黒字からつく

る。1円でも安い買い物を求めてチラシを見ている市民の財布からむしり取るようなことをいつまで続けるのか

問 超過課税相当額は、下水道事業会計に繰り出してはいる。廃止すると、下水道会計繰り出し金確保のため、市民のくらし

や命を守るための財源を圧迫し、行政サービスに影響を与えるため廃止は困難である。

放課後児童クラブの待遇改善を

答 引き続き改善していきたいと考えている

放課後児童クラブ



問 児童クラブの規模の差が大きく、それに伴い支援員の仕事量も大きな差があるが、給与は変わらない。ボーナスなどで手当てできないか

問 支援員には長く働いている方が多い。しかし給与には上限があり、それ以上は上がらない。支援員に限らず長く働いている会計年度任用職員に退職金制度を作るべきでは

問 全庁的な課題として捉えていきたい。

日高医療センター

問 日高地域では、民間診療所の医師が非常に高齢化しており、日高医療センターの外来がどうあ

るべきかを病院組合と議論すべきではないか

問 外来診療は維持、継続し、拡充するとなっているが、市としても一緒に考えたい。

問 将来に備えて透析機能の拡充もぜひ議論いただきたいがどうか

問 豊岡病院組合と透析患者がこれから増加していくことを見込んで議論を進められればと思う。

議員のひとこと

放課後児童クラブなど人手不足により負担を強いている現場がいくつかある。報酬を見直し、その労に報い、人手不足の解消も図るべきだ。



村岡 峰男 議員
日本共産党豊岡市会議員団



前野 文孝 議員
会派おおぞら



意見書・請願・陳情

意見書

消防団員の報酬に係る地方財政措置の改善を求める意見書

審議結果 全会一致で可決



要旨

豊岡市の消防団員数は令和5年4月1日現在で1818名となっており、うち階級が団員の者は1147名である。市域が広く6地域の多団制を採用しており、類似団体に比べて分団数が多いことから、班長以上の階級の割合が高い特性がある。

団員階級の報酬については国から一定の財政措置がなされているが、実態に比べて措置率が極めて低い状況にある。豊岡市においては現状の団員数の確保は不可欠であり、処遇改善を行っているが、自主財源の乏しい財政基盤の中で自治体独自で財源を確保し続けることは困難である。

よって、国においては消防団を中核とした地域防災力の充実強化に向けて、次の事項を実現されるよう要望する。

① 団員階級のみならず、班長以上の階級の実団員数等を考慮したうえで、消防団員の報酬に係る地方財政措置の改善を行うこと

小・中学校の体育館への空調設備の整備を
求める意見書 審議結果 全会一致で可決



要旨

近年、全国各地で記録的な暑さを更新するなど、夏の暑さが厳しくなっている。子どもたちが、体育の授業や部活などで熱中症となり、死亡や後遺症の事例も発生している。

学校施設は、子どもたちが長時間過ごす場であると同時に、災害時の地域の避難所ともなる重要な施設であるが、室内体育館においては多くの学校施設において整備されていない。

子どもたちが安全で安心して学校生活が送れるように、また防災対策の立場からも全ての学校において、国の責任で、室内体育館の空調設備の整備が進むように、支援強化を要望する。

請願

請願第3号

公立豊岡病院組合規約改正に関する請願書

審議結果 みなし不採択



提出者 西垣 栄ほか

要旨

1 市議会は、9月定例会で「公立豊岡病院組合規約」の改正をしないこと。

陳情

陳情第2号（6月定例会継続審査）

公立豊岡病院日高医療センターのあり方についての陳情書

審議結果 不採択



提出者 西垣 栄ほか

要旨

1 公立豊岡病院組合を構成する豊岡市の議会が日高医療センターの診療所化を認めないこと。
2 厚生労働省が日高・出石医療センターを「再編縮小対象」に指定公表している。市議会が政府にこの措置の撤回を求めること。

採択に対する反対討論

公立豊岡病院組合議会では、同義の陳情書が賛成少数により不採択すべきものと決定された。また、同日開催の全員協議会においても、有床診療所規模19床に設定する「日高医療センター整備基本計画」（修正案）も了承された。

陳情の趣旨は十分理解できるが、現状は、入院体制を支える医師そのものの不足に起因する縮小であり、公立豊岡病院組合全体として支える体制を構築することで、外来機能および人命に関わる人工透析センターを維持継続するとともに、訪問看護等在宅医療機能の強化拡充を図ろうとするための整備である。

また、厚生労働省が日高および出石医療センターを「再編縮小対象病院」に指定、公表されたことについては、すでにその対象から外れていることによって、本陳情は不採択を求める。

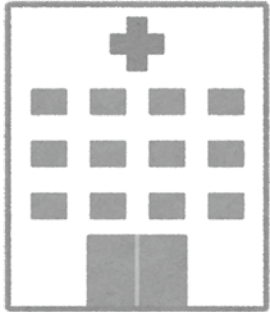
採択に対する賛成討論

市民説明会や、パブリックコメントでは、ほとんどの意見が入院ベッドを減らさないでほしいというものだった。

日高医療センターは、急性期の医療を担い、患者が自宅療養へと移行する前の回復期の入院機能を担っている。また、日高医療センターで透析治療を受けている患者も多く、すぐに入院できるベッドが減ることは不安である。

国の医療政策が、地方の病院を縮小する方針を示している中で、公立病院のベッドを減らすようなことがあってはならない。

日高医療センターの診療所化を認めない、国の地域の公立病院の再編縮小に反対するという本陳情の採択を求める。



視察報告



議会運営委員会(8月3日・4日)

議会運営および議会改革の取り組み

(三重県いなべ市)



委員がいなべ市で説明を受ける

議会基本条例の年1回の検証を行いながら、議決責任を念頭に据えて議会運営を行われている。執行機関が行う事務事業の決算に関し、議会独自の検証・評価を行い、適正な行政運営を促すとともに、施策によっては評価結果を市長に提言し、次年度の予算に反映させている。また、議会報告会を開催して、市民に対して議決機関としての説明責任を果たされていることが参考になった。

(三重県四日市市)

議会改革の取り組みとして、市議会モニター制度による議会への意見聴取や、シテイミーティングを議会報告会と合わせてショッピングセンターや学校まで出向いて開催されている。また、議案に対する意見募集を行い、委員会審査や議員の質疑にも活かされている。その他、議員間討議や学識経験者を活用した市長への政策提言など、市民との情報共有や市民参加を促進し、議員同士の共通認識を深めながらの議会運営が参考になった。

議会広報広聴特別委員会(7月25日・26日)

市民との意見交換会「せとまちトーク」等

(愛知県瀬戸市)



瀬戸市にて意見交換

市民の声を市政に反映すべく、市民アンケートから市民が関心を持っているテーマを絞り、グループワーク方式で行われる「せとまちトーク」を年に2回開催。活発な意見交換が行われている。市民からの意見は議会に設置される政策検討会議にて、当局に政策提言することになっている。

この他にも若者の政治参加を目指して「大学コンソーシアムせと」を開催されていた。**魅力ある議会広報誌の作成と広聴活動**
(愛知県東浦町)

「読める・分かる・つながる」議会だよりを目指して改善を積み重ねておられ、その成果は第37回町村議会広報全国コンクール奨励賞受賞として結実している。

構成も市民目線でデザインし、全ページフルカラーの紙面は見やすい。特に、表紙や裏面は地域で長く活躍されている団体を委員会が取材し、市への意見を聞き取るなど、広聴活動もなされていた。早速、本号で実践した。収穫が多い視察だった。



交通網問題対策等調査特別委員会(7月13日)

自動運転実証実験(兵庫県三田市)

三田市は「既成市街地」「農村・山岳地域」「ニュータウン」から構成され、鉄道路線・バス路線は充実し、交通空白地はないものの、交通不便地が増加傾向にある。

地域課題として、ニュータウンにおける急速な高齢化と、人口減少によって将来的に公共交通の維持が難しくなることが予測されることから、持続性のある域内移動性の確保等を目的に、基幹交通の自動運転化に向けた実証実験が行われた。

本市においても、今後欠かせないテーマであり、課題はあるが、引き続き注視していく必要がある。

チョイソコいながわ(兵庫県猪名川町)

乗り合い送迎サービス「チョイソコいながわ」は、令和2年、無償実証実験を開始し、翌年有償実証実験を行い、令和4年から本格運行を開始した。事業主体はネッツトヨタ神戸株式会社、地元タクシー会社に運行を委託、猪名川町はエリアスポンサーとして



猪名川町にて意見交換

赤字欠損額の支援を行っている。

地域の実情、時代に応じた交通モードが求められており、地域交通のあり方、市の関わり方を検討する必要がある。

防災対策調査特別委員会(7月24日・25日)

災害時の避難所運営(兵庫県神戸市)

神戸市の避難所の開設、運営は、平成10年制定の「神戸市民の安全の推進に関する条例」で多岐に渡って定め、必要に応じて改善を行っている。避難所として使用される中学校



神戸市の自主防災組織について説明を受ける

(82校) 小学校(163校)は、今年度中に体育館の空調設備の整備が完了する。多額の予算を伴うが、「市民の命を守るが一番」と行動する点は、本市でも実現すべき課題である。

防災福祉コミュニティの形成

小中学校の統廃合後も、元の小学校単位での福祉コミュニティを継続している。小中学生を対象として防災活動を行い、親世代も巻き込んだの活動につなげようとしている。

さまざまな取り組みの工夫を、本市の取り組みにも活かせればと思う。

「人と防災未来センター」

「北淡震災記念公園」で大震災の現状を視察(兵庫県神戸市・淡路市)

当時の大震災の現状を映像と、現状保存の地層や建物、記録で見えて、改めて被害の大きさを認識し、いつ起きるかもしれない災害に対して備える取り組みをしておく重要性を感じた。

その後どうなった?!



6月定例会の委員会審査における委員会意見と回答

豊岡市職員の特殊勤務手当に関する条例改正

新型コロナウイルス感染症に係る感染症法上の位置付けが、2類相当から5類に移行した。感染状況に注意が必要であることは変わりがないため、引き続き感染予防にしっかり対応いただきたい。(総務委員会)

5類移行後も、感染状況を見ながら感染予防について周知する。(健康増進課)

体育施設の整備・再編

利用団体や関係諸団体等の意見を十分に聞き、代替施設の確保や将来的な利活用の検討など丁寧に対応されたい。また、今後の整備・再編における対応スケジュールなど詳細な情報を、市民に公表することはもちろんのこと随時議会へも報告いただきたい。(予算決算委員会)

市民体育館の機能移転(解体・撤去)に係る市の考え方について、2023年8月9日に説明会を開催し、利用団体等市民への説明を行った。

会議資料等を市ホームページに掲載するとともに、今後とも適時説明を行う。

(文化・スポーツ振興課)

「MIXES」(ミックス)との懇談会

「MIXES」は高校生主体の団体で、地域の未来のために活動するプラットフォームとして令和4年7月に創設された。月2回の全体ミーティングのほか、グローバルや環境など分野別プロジェクトグループで但馬の未来づくりをテーマに活動している。



市議会議場での意見交換

設立理由は、地域と高校生のつながりの強化、勉強と部活動以外の活動を通じて得られる経験による視野の拡大である。地域課題に対して高校生ができる取り組みを通じ、より多くの人に興味を持ってもらい、活動規模を大きく、多様化している。

質疑応答では、市内在住外国人の直面する課題と解決策、環境活動体験の観光ツアーの提案のほか、ふるさと教育の実感、子ども施策、公共交通、住民税など多岐に及んだ。委員は、実体験を通じた発言に大変感銘を受け、今後の活動の励みになった。学生にとっても、それぞれの将来につながる実習になったように今後の活躍が楽しみである。

後日届いた感想には、さらなる提案も記載されており、色々と学びある実り多き懇談会となった。

豊岡市老人クラブ連合会との懇談会

最初に活動画像(DVD)を見させていただき、制作に至った経緯、連合会に加入している老人クラブの数と会員数およびその推移、地域別の老人クラブ結成率などの説明を受けた後、意見交換を行った。

主な意見は次のとおりである。①免許返納後、移動の手段となるチャタク、イナカーなどの充実を希望する②障害者などが利用できる福祉タクシー券と同じように、病院および買い物についての利用できる制度(移動難民対策)を行っていただきたい③玄さん体操を継続して取り組んでいる人に対し、成果を数値化し示すことができないか④身近な地域に開業医が少なくなり病院までの移動ができない人のために、移動診療所などの仕組みができないかなどである。お聴きした内容について当委員会における今後の活動に活かしていきたい。

老人クラブへの加入者が減少し、役員の成り手不足、特に女性役員の成り手がいない状況のなかでも、精力的に活動されている役員の皆さまでに対し、敬意と感謝を申し上げたい。



意見交換を終えて

豊岡市コウノトリ湿地保全部隊との懇談会

兵庫県立大学で豊岡コウノトリ湿地保全部隊と「豊岡市の環境保全」についての懇談会を行った。懇談会のテーマとして、①豊岡市の生物多様性②豊岡市の生物多様性への意識と醸成③学生が市に思い・意見を届ける方法についてと3つのテーマで協議を行った。

まずは、互いの思うところを述べ、参加者より考えや具体的なアドバイスなど意見交換を行った。その中で、湿地保全は、管理が大変な中、高齢化が進んで今後も維持できるのか等、また、管理者だけの力に頼るのではなく「公助」の必要性が今後の課題であると議論は弾んだ。そして何よりも大切なことはさまざまな方との交流や、情報交換がとても重要であり、環境だけでもダメ、開発だけでもダメ。各々が高い意識とダイバーシティ(多様性)をしっかりと持つことである。



湿地保全について意見を述べられる島田会長

今回の豊岡コウノトリ湿地保全部隊の学生の皆さんとの懇談会は、今後の未来にとっても有意義で、継続していきたい事業の一環であった。

あたたかな笑顔を訪ねて

—議員訪問インタビュー—

暮らしの学校農楽（の〜ら）

（出石町鳥居）



どんな活動を
しているの？

障害のある方や社会参加できなくなっている方のための支援施設です。20ha余りの田畑で野菜やお米を無農薬で育て、調理して食べたり、直売所などで販売したりしています。地域の食堂やグループホームも運営。なぜかヤギもいます。みんなで働く経験を通じて自分や社会への信頼を取り戻し、就職していかれる方も多いです。

豊岡市、
こうだといいな。

いつだれが不登校やひきこもりになってもおかしくない世の中です。たとえそうなっても、元氣を取り戻してまた自分らしい暮らしができるように支え合える地域であつたらいいなと思います。暮らしの学校農楽（の〜ら）に限らず、一步を踏み出すお手伝いをする施設はたくさんありますので、困ったらぜひ誰かに相談してみてください。

12月定例会の日程(予定)

開 会	11月30日(木)
一般質問	12月11日(月)~14日(木)
常任委員会審査 (総務・文教民生・建設経済)	12月18日(月) 9:30~
常任委員会審査 (予算決算)	12月14日(木)*1・22日(金)*2
特別委員会審査	12月22日(金) 9:30~
閉 会	12月26日(火)

※1 一般質問終了後に開催
※2 13時~

・本会議は9時30分から市の議場で開催します。

【傍聴について】

一時保育（無料）もありますので、一時保育利用希望者は1週間前までにお申し込みください。また、豊岡市議会インターネット中継によりパソコン、スマートフォンから審議の様子を生中継でご覧いただけます。

■問合せ／豊岡市議会事務局

☎ 0796-23-1119

荒木慎太郎

森垣康平

芦田竹彦

芹澤正志



議会広報広聴 特別委員会

一年間ありがとうございました

西田 真

委員長
前野文孝

副委員長
石田 清

村岡峰男

▼この夏は記録的な猛暑でした。議会では、市民の皆さまの声や子どもたちの状態を聴き取り、「小・中学校の体育館への空調設備の整備を求める意見書」（16ページ）を可決しました。

▼広報広聴特別委員会では、他の委員会を通じての市民団体との意見交換等、広聴の充実に努めました。一方で、広聴のためには、市政の情報を分かりやすく正確に伝える必要があります。「議会だより」も、その一助となればと思います。（いしだ きよし）

編集後記

UD
FONT

見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。